

日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会主催

第16回医薬品評価フォーラム

医療Big Dataの活用

-現状と今後に向けた期待-

日時

2019年4月19日（金）
13:00～17:30

場所

日本薬学会長井記念ホール
（渋谷区渋谷2-12-15）

近年、医療Big Dataを医薬品開発や製造販売後の安全性対策に活用する試みが始まっている。本フォーラムでは、実際の活用が開始されたこの初期段階において、将来あるべき姿について産・官・学からの期待を共有した上で、実際の活用事例やそれに伴う課題について議論したい。

【第一部：医療Big Data活用への期待】

◆なぜ「次世代医療基盤法」が

～現場から提供されるデータの利活用の成果が

現場へ還元される社会全体の好循環を目指して～

内閣官房健康・医療戦略室 田中 謙一

◆（仮）医療Big Dataの活用に関する海外から学ぶ未来

国際医療センター 大津 洋

◆製薬産業から見た医療Big Data活用の課題と提言

日本製薬工業協会 医薬産業政策研究所 森田 正実

【第二部：医薬品開発における医療Big Dataの活用に向けての取り組み】

◆AI×ビッグデータで挑む医薬品開発のパラダイムシフト

エーザイ株式会社 hhcデータクリエーションセンター データサイエンスラボ 青島 健

◆（仮）臨床試験におけるReal World Data活用における疾患レジストリとの協働

日本製薬工業協会／武田薬品工業株式会社 田之頭 淳一

◆アウトカム定義のバリデーション研究について－AMEDバリデーション研究の結果－

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 堀木 稚子

◆販売製造後データベース調査の実例と取り組み

MSD株式会社 下寺 稔

◆パネルディスカッション

◆参加登録・お問合せ◆

参加費：事前 一般3,000円 学生1,000円／当日（席に余裕のある場合のみ）一般4,000円 学生1,000円

登録受付：2018.12.1（土）～2019.2.28（木）12:00まで。定員（200名）に達し次第終了

HP（<https://16th-iyakuhin-hyoka-forum.jimdofree.com/>）からご登録下さい

実行委員長：東海康之（グラクソ・スミスクライン株式会社）／事務担当：若林（国立衛研）

E-mail：iyaku-forum@nihs.go.jp TEL：044-270-6600（内線1002）



第16回医薬品評価